

青少年のための科学の祭典-2013おもしろ科学まつり- 和歌山大会 開催要項 (案)

1. 大会名

青少年のための科学の祭典 -2013おもしろ科学まつり- 和歌山大会

2. 日時

平成25年12月14日(土) 12:30-16:00
15日(日) 9:30-16:00

3. 場所

和歌山大学 (〒640-8510 和歌山市栄谷930)

4. 趣旨

ここ数年の間に、惑星探査機はやぶさの帰還、iPS細胞の開発など、長年にわたる研究開発の成果が次々と実を結んでいます。プロジェクトに関わった人たちは今、これらの成果を活用した次の目標に向かって、引き続き研究開発に取り組んでいってほしいと思います。例えば、宇宙の謎を解明したり、難病の治療法を確立することは、科学に直接関わる人だけではなく誰もが期待することです。このような科学技術の進歩は、今後の我々の生活をより豊かで便利にしてくれることでしょう。

このような話題を話すとき、印象的な出来事や感動的なエピソードがよく取り上げられますが、科学者が成功に至る過程には多くの困難や障害があったことでしょう。そして、成功に到る過程では、直接関わらない人たちの協力やサポートもあったことでしょう。すなわち、科学の研究開発は科学者だけのものではなく我々全員に関わりのあるものであり、常に我々自身の問題という意識を持つ必要があります。例えば自然災害や原発事故のように科学的判断力が必要とされる事態に直面したときには、科学者と一般市民の両方が自分自身で客観的かつ冷静に考えて、責任と自信を持って行動する必要があります。そういうふうに行動できるためには、普段から身の回りで起こることに興味を持ち、なぜそうなるのか、どうしてそうなるのか、という「原因」や「しくみ」を考える力を養うことが必要です。

教育の現場ではこのような力を「生きる力」や「創造力」、「デザイン能力」などと呼び、その教育を重視しています。小さいうちから理科や科学技術に触れることが、これらを身につけるための一つの方法と考えられますが、子どもたちの理科や科学技術への興味が薄れているのが現状です。この問題を克服するための一つの方法が、小学生の時から継続的に科学の「おもしろさ」、「楽しさ」に触れることだと考えています。私達は2000年以来和歌山市で「おもしろ科学まつり・和歌山大会」を開催し、毎年大変多数の方々に来場いただき科学を楽しんで頂いています。今年も、全国各地で開催されている「青少年のための科学の祭典」の一環として「おもしろ科学まつり・和歌山大会」を開きます。

今回も、小学校から大学までの各種学校の先生・生徒・学生や、その他科学に関心のある方々の協力を得て、科学の実験、観察、工作などを準備し、子どもたちにそれらを見学、体験してもらって、科学のおもしろさ、楽しさを感じてもらおうと計画しました。今年も昨年に引き続き和歌山大学キャンパスを使って開催します。大学でないと見ることができない出展も用意しています。この大会が、科学の真のおもしろさ、楽しさを理解し、探求心を持ち、創造力にあふれた若者を育てることの一助になることを期待しています。

5. 主催等

◎主催

「青少年のための科学の祭典・和歌山大会」実行委員会、一般財団法人雑賀技術研究所、日本物理教育学会近畿支部、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館

◎共催 (予定)

和歌山大学、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、和歌山県科学教育研究会、和歌山市小学校理科教育研究会、和歌山市中学校理科教育研究会、和歌山県高等学校理科研究会

◎協賛 (依頼予定)

株式会社アーツテックラボ、NTT ファシリティーズ、株式会社オークワ、オムロン関西制御機器株式会社、柏木鉄工株式会社、クインライト電子精工株式会社、ケイ・エー商会、新興出版社啓林館、下代組機工、有限会社光明電設、コニカミノルタプラネタリウム株式会社、株式会社島精機製作所、スカイグロブ、スペースインターネット株式会社、西華デジタルイメージ株式会社、テレスコープセンターアイバル、太洋工業株式会社、竹内化学株式会社、西本工機株式会社、阪和電子工業株式会社、株式会社

BEE, 株式会社不動テトラ和歌山営業所, 有限会社みしま教材, 山本化学工業株式会社, 有限会社和歌山教具, 社団法人和歌山県水質保全センター, 公益財団法人わかやま産業振興財団, 社団法人和歌山浄化そう協会, 社団法人和歌山清掃連合会, 和歌山大学消費生活協同組合

◎後援(依頼予定)

文部科学省, 経済産業省, 国立和歌山工業高等専門学校, 和歌山商工会議所, 一般社団法人和歌山県発明協会, 株式会社テレビ和歌山, 株式会社和歌山放送, 朝日新聞和歌山総局, 毎日新聞和歌山支局, 読売新聞和歌山支局, 産経新聞社, ニュース和歌山株式会社, 株式会社和歌山リビング新聞社, わかやま新報, 日本宇宙少年団 和歌山分団, 全国科学館連携協議会, 全国科学博物館協議会, **NHK**, 日本物理教育学会, 日本生物教育学会, 日本地学教育学会, 日本基礎化学教育学会, 日本科学教育学会, 日本理科教育学会, (一社)日本地質学会, 日本生物物理学会, 一般社団法人日本物理学会, (公社)応用物理学会, 公益社団法人日本化学会, (一社)日本機械学会, (公社)日本アイソトープ協会, (公社)日本理科教育振興協会, (一財)日本私学教育研究所, (公社)日本植物学会, (社)日本動物学会, (公社)日本天文学会, (公社)日本工学会, (一社)電気学会, 日本エネルギー環境教育学会, わかやま自主研究フェスティバル実行委員会

6. 出展内容および規模

・自然科学に関する, 実験, 観察, 工作, 中学生向け科学教室, 講演会 等, 出展数: 50

7. 出展協力者

・小学校, 中学校, 高等学校, 大学・高専の教員および学生, 企業, 市民の有志

8. 対象

・小学生, 中学生, 高校生, 大学生, 教員, 一般 (入場無料)

・入場者数予想 3,000名

9. 実行委員会委員名簿

実行委員長	津田尚明	(和歌山工業高等専門学校)
実行委員	中井章博	(和歌山県教育庁学校教育局学校指導課)
	阿部敬子	(和歌山市立こども科学館)
	中西 大, 田村和弘	(和歌山大学教育学部附属小学校)
	木村一紀	(和歌山市立城東中学校)
	矢野充博	(和歌山大学教育学部附属中学校)
	西澤 徹	(和歌山県立和歌山西高等学校)
	中尾允紀	(和歌山県立粉河高等学校)
	栗柳哲也	(和歌山市立宮小学校)
	蓬臺孝紀	(一般社団法人和歌山県発明協会)
	竹原秀也	(株式会社和歌山リビング新聞社)
	神田和香子, 顧 萍, 古賀庸憲, 富田晃彦	(和歌山大学教育学部)
	村川猛彦, 金子泰純, 西村竜一	(和歌山大学システム工学部)
	尾久土正己	(和歌山大学学生自主創造科学センター/観光学部)
	藤垣元治(事務局長)	(和歌山大学学生自主創造科学センター/システム工学部)
オブザーバー	平松久典	(一般社団法人和歌山県発明協会)
事務局スタッフ	森 文カ	
会計監査	赤坂健司, 藤田利光	

問い合わせ先:

青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会事務局(担当: 森, 藤垣)

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学学生自主創造科学センター内

TEL・FAX 073-457-8502 E-mail omoshiro2013@kagaku-wakayama.com

<http://kagaku-wakayama.com/>